

放射線管理手帳制度

放射線管理手帳制度 ほうしゃせんかんりてちょうせいど

原子力施設で作業する放射線業務従事者の本人証明、被ばく履歴の迅速かつ的確な把握、及び履歴調査の手掛かりとすること等を目的として手帳を発行する制度。放射線業務従事者の被ばく管理を一元的に行うための中央登録センターの設立に伴う「被ばく線量登録管理制度」とともに、1977年に制定された。全国各地に所在する中央登録センターが認定した放射線管理手帳発行機関に事業者（雇用主）が手帳の発行申請を行い、手帳発行機関は中央登録センターから中央登録番号を取得し、手帳に中央登録番号等必要事項を記入の上、有効な手帳として事業者に送付する。この制度は、国の指導のもとに、原子力事業者、元請事業者等の協力により中央登録センターが主体となって自主的に運営しており、1979年に全面的な運用が開始された。

<登録年月>
2012年03月
